

山形村誌 第二卷●史料編 (近現代) ●目次

口絵 2

凡例 3 0

【概説】 村の誕生、そして合併へ 3 4

近現代史資料

明治元年 5 6

二月 年貢金等不納が多いので日延べを願い出る

四月 奥羽鎮撫総督より庄内征討出兵を命ぜられる

五月 成人になった者、非常の時出勤のこと

浪人改めのため領内改所に印鑑を渡す

十一月 戸呂町山にての砥石堀り、年限につき証文返上

宮古に上陸した官軍、久慈大野経由して八戸へ通行

久慈通へ役人派遣

関村右衛門二郎へ鱒留証文を交付

官軍へ取計いの覚

官軍通過したため役人引き取り

十二月 奥羽を七国に分割、山形は九戸郡に属す

銅銭と鉄銭の両替値段変更

明治二年 6 0

三月 久慈代官、年貢金など取り立ての勘定終了

八月 九戸県等を置く

九月 九戸県を八戸県と改称する

九月 八戸県を三戸県と改称する

十一月 三戸県を江刺県に合併する

明治四年 6 1

五月 若殿様が久慈通へ回村、関・戸呂町に宿泊

六月 久慈通山税取立帳

七月 藩を廃してことごとく県とする

九月 八戸県等を弘前県に合併する

弘前県を青森県と改称する

明治五年 6 6

一月 盛岡県を岩手県と称する（山形通七村は岩手県に属す）

六月 県内を二十一区制とし山形通七村は二十区に属す

十月 区長・副区長を設置し、月給制となる

郷村社

明治六年 6 9

三月 検地の督促

四月 郷村社の氏子数

七月 地租百分の三となる

十一月 千手庵の帰俗願いを取り下げる

明治七年 7 1

四月 戸呂町小学校創立

八月 繫精鍊所等の鉱業権譲渡願い

九月 二歳駒並びに父馬の競売

七年 坑業明細

明治八年

74

一月 管内郷村区画改正で山形通七村は第十六大区第四番扱所になる

小学生の学齢が定められる

戸長と書役の名簿

三月 郵便を運ぶ方法を定める

八月 荷軽部小学校創立

九月 霜畑小学校創立

日野沢小学校創立

十月 館石神社の管私区別書き上げ

霜畑村八幡宮は官地に相違なし

川井神社の官私区別書き上げ

十一月 繫鉄山等の鉄山用品を払い下げ

八年 日向小学校創立

明治九年

81

一月 荷軽部村の組総代が辞職を願う

千手庵は官地に相違なし

二月 戸長等の月給

杉下小学校創立

四月 大川目庁は十一出張所として警察業務を行う

繫小学校創立

六月 境外の畑は千手庵へ売り渡したものに相違なし

八月 管内大小区画を改める

警察出張所と屯所等を区画改正する

九月 二歳駒競売の日程及び出場頭数

管内学事統計

管内の公学校

九年 坑業明細

明治十年

89

一月 地租を百分の二分五厘と改正する

六月 鱒止め漁場の入札

組総代が辞職を願う

八月 二歳駒・子牛競売日程

各区費の徴収金額

十一月 県庁より配送される日日・曙新聞の扱い所

十年 砂鉄採取行業明細

明治十一年

95

三月 小学校学区を定める

八月 戸長は選挙によること

二歳駒子牛競り日程

十一年 荷軽部小学校来内分教場設置

坑業明細

明治十二年

99

一月 大小区画を廃止し郡村制にする

三月 戸呂町村村誌

繫村村誌

小国村村誌

霜畑村村誌

川井村村誌

日野沢村村誌

荷軽部村村誌

七月 選挙にて川井村役所戸長が清水徳三郎氏に決まる

八月 二歳駒子牛競売の日程

十二年 坑業明細

明治十三年

八月 日野沢・戸呂町村戸長が依頼免職

十月 常食及び雇人の賃金

十一月 村役所を戸長役場と改称する

郵便配達受持ち区域

十三年 砂鉄採行業明細

薪炭の産出需用輸出入高

明治十四年

三月 人馬車継立所の設立許可場所

六月 人馬賃表

七月 文部省からの小学校補助金を各郡役所へ配分

十月 二歳駒の競売

二歳子牛競売

十二月 村社八幡宮の祠掌の選定

十四年 砂鉄採取行業明細

明治十五年

八月 二歳子牛競売の出頭数等

振駒競売の出頭数等

九月 日野沢村出ル町等におけるイナゴ害の状況

十五年 砂鉄採取行業明細

明治十六年

二月 総馬元帳等の提出を命ぜられる

関駅に継立所の設立を願う

人馬継立出張所の設置願

三月 戸長身分の扱いについて

四月 関郵便局開局

五月 管内郵便局配達区域

八月 二歳駒競売日程等

九月 川井分署等の巡查配置定員が四人となる

十六年 砂鉄採取行業明細

明治十七年

五月 九戸郡内の役場位置・戸数等

八月 戸長の人選

戸長役場所轄区域を改定

連合戸長役場を霜畑村十八番地に開設

九月 二歳子牛の競売日程等

学区改正で繫村・戸呂町村は上大川目学区に、霜畑村・小国

村・荷軽部村・川井村・日野沢村は霜畑学区となる

十月 公葬地の設置願

公葬地増設願について具申

十一月 公葬地増設願

公葬地増設願及び復命書

公葬地増設についての具申

公葬地調査の復命書

十二月 公葬地調査の復命書

十七年 役場等級で霜畑役場は六等役場となる

岩手博覧会出品の解説

馬場幾次郎氏の大豆に褒賞

戸長役場所在地の地価・戸数・人口等

砂鉄採取行業明細

明治十八年

- 一月 繫村等の公葬地設置届
- 二月 街道及沿道宿駅名
- 三月 川井村外の公葬地増設設置願を許可
- 四月 繫・日野沢に郵便函を設置
- 八月 駅伝営業組合の区画
- 十八年 砂鉄採取作業明細

明治十九年

- 二月 鱒止め漁場の入札案内
- 三月 上大川目・繫・戸呂町連合会の決議報告
- 四月 駅伝営業組合の区画改定
- 川井村の公葬地替地を至急許可されたい
- 五月 管内駅伝営業組合の区画改定
- 民家火事により日野沢小学校が類焼する
- 九月 二歳子牛の競売日程
- 十月 登記所の位置及び管轄区域
- 一週間に届け出た県内の伝染病の患者数
- 九戸郡のコレラ病患者数
- 勸業委員現員報告

明治二十年

- 二月 村の町村教育費収支予算調書
- 三月 戸長役場所在地の戸数
- 五月 コレラの発生状況
- 霜畑村類瀬の火事にて蓄積した備荒米を焼失
- 七月 繫村公葬地増設の許可
- 二十年 木賃宿の営業区域

177

明治二十一年

- 六月 市町村制実施にかかる諸調査
- 十二月 霜畑・荷軽部に巡查駐在所を設置する
- 二十一年 村に設置されている備荒倉
- 借区坑業明細

明治二十二年

- 二月 町村の合併と分離
- 四月一日より町村制施行決定
- 三月 町村役場の位置
- 四月 山形村役場の位置を訂正する
- 戸長役場の附属財産処分伺い
- 五月 山形村条例第一号
- 山形村村長選挙に当選した小野寺定次郎氏認可伺い
- 六月 山形村助役に当選した芦澤浅吉氏認可伺い
- 小国は通学不便のため分教場設置を願う
- 小国への分教場設置願いを採択するよう願う
- 六月十日に山形村役場を開庁する
- 新村政施行に伴う山形村への事務受渡し
- 霜畑村役場廃止に伴う事務引継ぎ終了届
- 金銀銅試掘願いについての添申
- 八月 山形村実施の成績視察の復命
- 九月 岩手県郡町村一覧

明治二十三年

- 十二月 警察署管轄改正で山形村は南九戸郡の管轄
- 明治二十四年
- 三月 失火により繫小学校焼失

197

201

214

215

目次

明治二十五年 215

四月 小国に郵便函を設置

荷軽部に郵便函を設置

七月 山形村の小学校数と位置

明治二十六年 216

四月 牛市場の売買頭数

八月 山形村の人口は三五八〇人

明治二十七年 218

二月 山形村の社寺と所在地

砂鉱採取場と製錬場を上野己之吉へ譲渡

五月 繋の砂鉄採取願

十月 戸呂町に郵便函を設置

二十七年 九戸郡の牧畜篤志家

明治二十八年 221

四月 九戸病院山形出張所等廃止

八月 第二代村長に栃内茂昭氏就任

十月 霜畑に郵便函を設置

二十八年 来内小学校独立校に昇格

明治二十九年 222

三月 山形村村長・助役・収入役の給料増額

五月 火事にて山形村役場・日向尋常小学校等類焼

九月 産牛地における飼養牛・産子牛数

郡制施行へ明治三十年四月一日告示

十一月 振払い百円以上の二歳駒

十二月 赤痢患者数

明治三十年 228

三月 三船善吉氏が村長に当選

四月 二十九年度の山形村人口三六七八人
郡会議員に山形村から清水徳十郎氏

九月 駐在派出所の受持ち区域

大雨の被害状況

山形村農会を創立

十月 小学校の生徒数等

十一月 優等馬に奨励金

明治三十一年 234

一月 教員の昇給がない小学校

四月 山形村村長等の月給を増額

六月 霜害視察の状況

七月 伊藤敏氏の村長当選認可願

八月 不況による生活の困窮状況

九月 鱒留漁業の異動届け

明治三十二年 239

六月 山形村における区設置規定

十二月 関郵便局等で郵便為替取扱を開始

三十二年 軍馬買上げの馬

明治三十三年 241

三月 巡查駐在所等の受持ち区域

五月 砂金の試掘許可

十一月 神永氏の菜豆が全国農水産連合品評会で入賞

明治三十五年 242

四月 衆議院議員選挙有権者数

五月 衆議院議員選挙投票区

十月 暴風における稗等の被害状況

明治三十六年 245

五月 凶作窮民に義捐金

十月 戸呂町小学校新築要項

明治三十七年 248

六月 学齡児童の就学歩合

十一月 第五代村長に苜澤浅吉氏就任

明治三十八年 249

十二月 農会入会状況と事業

三十八年 山形村の人口動態

明治三十九年 251

二月 凶作のため天皇皇后両陛下より義捐金下賜

三月 義捐金の配当

北海道への移住民員数

四月 学齡児童保護会設置

八月 被皮繩の生産額等

三十九年 春蚕農家戸数・掃き立て枚数

日露戦争における戦病死者

明治四十年 256

九月 第一回岩手県馬匹共進会出陣馬

川井尋常小学校校舎完成

十二月 製炭及び椎茸養成法講習会証明書を授与

明治四十一年 257

二月 山形村にて九戸郡蚕業講習会を開催

四月 日野沢尋常小学校を川井尋常小学校分教場と変更

十一月 村長に苜澤浅吉氏再選

明治四十二年 259

五月 霜畑尋常小学校建築場所についての論議

六月 川井尋常小学校に普通教育奨励補助金三十五円出る

九月 金銀の試掘許可

十二月 山形村在郷軍人団の発会式

山形村雑記

明治四十三年 262

六月 村医赤川元則氏を解職し、伊藤祐規氏を委嘱

マンガンの試掘許可

九月 百年以来の大洪水で浸水家屋数百戸

金鉱の試掘許可

十月 マンガンの試掘許可

十一月 小国尋常小学校の建築要項

川井尋常小学校日野沢分教場の建築要項

明治四十四年 266

二月 マンガン採掘の状況

三月 霜畑小学校分教場設置についての論議

九月 夏蚕繭品評会の成績

明治四十五年 268

二月 山形村在住の獣医名簿

大雪による積雪が五尺に及ぶ

大正元年 269

八月 臨時家畜市場開設願

十月 第一回臨時家畜市場開設願

十一月 二歳駒の競売成績

目次

十一月 臨時家畜市場の成績

大正二年 274

二月 遠藤茂平氏が村長に当選

六月 繭乾燥場設置に助成金

七月 春蚕の産出石数

九月 山形村産の種馬を宮崎県が購入

十月 式歳牡馬の競売結果

大正三年 276

二月 罹災の善後策

山形村經由久慈・葛巻線の工事開始

三月 大正二年における凶作の被災民状況

七月 清水徳十郎氏に農商務大臣表彰

郡内の養蚕状況

大正四年 280

四月 久慈町から葛巻村に至る路線変更

大正五年 280

四月 関の福寿正宗・せき正宗(酒)が三等入賞

十二月 久慈福岡間の道路改修可決に山形村民祝杯

大正五年末人口統計四五七二人

出入戸数

五年 九戸郡道(久慈・葛巻線)完成

大正六年 283

二月 衆議院議員選挙有権者数 山形は十六人

三月 清水精一氏の獣医開業届

四月 山形村における養蚕家

十月 庵号訂正願の上申

十月 庵号訂正願(千手庵、千手寺)不備にて却下

大正八年 286

十二月 大麦・小麦の作付状況

四月 氏子総代名簿

五月 優良馬生産で下館永七氏を表彰

十一月 川井郡道を県道とする認定請願書

十二月 山形村販売組合設立の許可申請

大正九年 288

三月 現下の村況を考慮し、有給から助役を削除

四月 久慈葛巻線の路線認定

五月 役場から村内各所への道路

九月 道路元標位置

小学校教員及び就学児童数

十月 第一回国勢調査人口四二八八八

川井小学校に図書館を開館

十二月 川井に上川井郵便局を開局

上川井郵便局開局の経過

不景気で米高騰、山形村では米一升四十三銭

納税五年継続完納で村に表彰状

大正十年 296

三月 川井尋常小学校に高等小学校併置を申請

四月 大豆・米の増収成績

小学校用の木炭は特産地であることから現品で納める

五月 全国産馬功労者として下館永七氏が表彰される

六月 霜害の状況

十二月 山形村における納税督励施設とその状況

十二月 山形村の工場

小作慣業調査

十年 福岡・久慈線が県道に編入

大正十一年

六月 薪の生産高

木炭の生産高

八月 郡制廃止に伴う村の財産等

大正十二年

六月 地方青年団体等の状況

山形村の概況

十二年 久慈・葛巻線が県道に編入

大正十三年

一月 産業生産額

八月 早魃により山形村の畑作は皆無

九月 早害による救済を県に申請

十月 家畜の飼育頭数

早害の状況

九戸産馬組合の馬の競売成績

十一月 早害の家畜に及ぼす影響調査

早害対策として下川井に国有林払下げ

大正十四年

五月 村議の選挙結果十二人当選

十二月 国勢調査人口四四四三人

大正十五年

六月 郡役所を廃止し、山形村は九戸支庁に属する

昭和元年

巡查駐在所の受持ち区域

昭和二年

一月 道路改修により自動車が行き可能となる

二月 九戸郡の養蜂状況

四月 青年訓練所を設置

七月 日赤の無料診療に八百七十七名詰める

十月 二歳牡馬の競売成績

十一月 川井・霜畑間村道開鑿のための測量を開始

十二月 衆議院議員選挙の有権者数が著しく増加

山形村の職業戸数調べ

昭和三年

一月 人口動態

四月 農会主催第一回副産品々評会を開催

六月 九戸郡の人口・戸数

山形村からの出稼ぎ状況

馬車・自動車の所有数

各産業の一年間の生産額

八月 第一回小学校連合運動会を開催

昭和四年

一月 九戸郡内の繭生産高の番付

二月 山形村の予算額二万六千十五円

四月 戸数及び人口

六月 久慈地方の豪雨被害額

四家族が北海道へ農業移民

十月 早による被害状況

目次

昭和五年 3 4 1

三月 戸呂町の入会争議結審

五月 村医として渡辺茂氏が着任

十月 人口が五千人を超え議員定数増

葛巻・山根線が県道に編入

十一月 荷軽部人会争議結審

昭和六年 3 4 3

十一月 内間木洞窟と岩蔭住居跡保存についての指示

昭和七年 3 4 4

四月 川井養蚕実行組合設立届

村の商業別人口

十月 長内市松氏が村長に就任

昭和八年 3 4 5

五月 村会議員定員十二名から十八名に増

六月 耕地面積と農家戸数

昭和九年 3 4 7

十月 昭和九年度凶作実況調査

村にデフテリア発生

麻疹が流行し、死亡者多く出る

昭和十年 3 5 2

一月 凶作による困窮者への救済金

二月 冷害被災者に就業費金給与

冷害被害

三月 霜畑尋常小学校に高等科併置願

六月 山形青年学校を設置

七月 村内各地に郷倉建築の計画

八月 荷軽部尋常小学校来内分教場の位置を変更

霜畑尋常小学校の位置を変更

霜畑尋常小学校成谷分教場を廃止

十一月 国勢調査人口五六六五人

十二月 山形村の米作り農家数

十年 木炭検査が始まる

昭和十一年 3 5 9

四月 雪害罹災に係る救助申請

六月 農事実行組合設立届

冷害による作物被害状況

青年団主催競技会を開催

八月 村に電話が入る

十月 風害による農作物被害

昭和十二年 3 6 4

二月 雪崩により川井で一家五人死亡

四月 野田く葛巻線が県道に認定

九月 川井と霜畑尋常高等小学校の寄宿舎建築許可

昭和十三年 3 6 5

五月 国有種牡馬種付所を建設

七月 戦傷病者の合同慰霊祭

十一月 山形村誌発行

昭和十五年 3 6 6

一月 巡查駐在所の受持ち区域を改正

五月 山形村における農業労働賃金

九月 国民の生活抑制方策

十月 村一号の理容技術試験合格者

昭和十六年 372

三月 食糧増産のため、各学校に馬鈴薯栽培を割り当て

七月 各市町村への粗飼料乾燥割り当て

八月 海軍志願兵徴募の割り当て

昭和十七年 375

十一月 一般鍛錬競技に出場する軍馬

くるみの販売価格

昭和十八年 376

五月 木炭配給機関として山形産業組合を指定

十一月 国民健康保険組合事業を山形産業組合に許可

久慈〜山形間のバス運行

昭和十九年 377

十一月 九戸郡の製材工場

昭和二十二年 377

五月 駒井勝雄氏が村医に就任

昭和二十二年 377

四月 川井中学校及び五分校を開校

霜畑中学校及び小国分校を開校

五月 小原喜三治氏が村長に就任

二十二年 岩手食糧事務所山形出張所を設立

木炭生産量が五十八万四千俵で生産量日本一

昭和二十三年 379

三月 山形村農業協同組合を設立

四月 関・小国農業協同組合を設立

五月 久慈農業高等学校校定時制（昼間課程）山形分校を開校

十二月 山形村開拓農業協同組合を設立

二十三年 山形村農業災害共済組合を設立

昭和二十四年 381

六月 霜畑中学校小国分校仮校舎新築

霜畑中学校本校舎新築

十一月 川井中学校荷軽部分校校舎新築

川井中学校本校舎新築

十二月 川井中学校戸呂町分校校舎新築

昭和二十五年 381

七月 山形村社会教育委員誕生

八月 遠別川砂防ダム起工

広報を発刊

川井中学校来内分校校舎落成

十月 国勢調査人口六七五八人

昭和二十六年 384

一月 第一回山形村成人式

四月 久慈高校山形分校霜畑分室を開設

中野虎雄氏が村長に当選

六月 川井中学校繫分校校舎落成

七月 第一回農業委員会を開催

山形村公民館設置条例を制定

八月 第一回消防演習を開催

十月 霜畑中学校校舎新築

十一月 山形中学校日野沢分校校舎新築

昭和二十七年 386

一月 県立図書館の第一回巡回文庫

二月 川井中学校戸呂町分校校舎の落成式

三月 川井小学校にて第一回青年議会を開催

社会福祉協議会を結成

四月 川井中学校の五分校を廃止、それぞれ独立校認可

霜畑中学校小国分校は独立校に昇格

荷軽部中学校開校（来内分校設置）

山形村農業振興計画案を策定

山形土地改良区を設置し、事業に着手

五月 盛岡〜久慈間の急行バス運行開始

六月 県知事を招いて松淵発電所（川井）落成を祝う

七月 山形角力協会を設立

公民館主催の第一回社会人野球大会を開催

十月 山形農協パン工場落成

十一月 第一回教育委員会議にて委員長を選任、教育長に橋本文蔵氏を任用

十二月 第一回産業振興祭を開催

二十七年 第一回山形村増産競技を開催

関（霜畑小学校）に電話が入る

390

昭和二十八年

一月 山形村民歌決定

四月 来内中学校が独立校となる

久慈高校山形分校に昼間二年課程を設置

五月 村の二十八年度予算

六月 役場庁舎・診療所・林産物検査所が落成

七月 荷軽部小学校校舎落成式

九月 来内分教場が本校に昇格

昭和二十九年 一月 川井中学校・川井小学校をそれぞれ山形中学校・山形小学校と改称

六月 全村電化導入を決定

八月 零下二度の寒波により凍霜被害広がる

九月 酪農基金貸付条例を決定

村有林管理条例を制定

荷軽部に電気導入

二十九年 荷軽部に電気導入

昭和三十年

四月 村に養護教諭配置

五月 長内市松氏が村長に就任

三十年 山形〜小国間バス運行開始

昭和三十一年

三月 山形村労務者保護協会を設立

七月 来内で季節託児所を開設

十一月 「平庭高原音頭」を発表

昭和三十三年

一月 第一回山形村婦人問題研究会を開催

五月 県下馬力大会を開催

七月 山形村国保直営診療所を開始

教育長に松生利直氏が任命される

日本大学医学部移動大病院を開設

山形中学校独立校舎を新築

八月 新農村建設指定地域に指定されることが決定

九月 国民健康保険の納付状況

十月 新農村建設地域計画樹立のため、部落座談会を開催

十二月 新農村建設地域計画樹立のため、部落座談会を開催

395

394

394

392

昭和三十三年 397

十二月 山形中学校校舍全焼

三十三年 繫など七地区に電気導入

昭和三十四年 398

一月 診療所医師として織茂平氏が着任

五月 高屋敷英志氏が村長に就任

十二月 女供（小国）地区に点灯

待望の消防車を購入

三十四年 戸呂町・繫・来内に電話架設

昭和三十五年 399

一月 ニュージールランドよりジャージー牛を購入

四月 本年度予算額四千三百五十万円

六月 県北バスによる伊保内〜川井間の定期バス運行

平庭高原・久慈溪流が正式に県立自然公園になる見通し

八月 電気導入促進協議会の協議事項

九月 山形中学校校舎再建落成

三地区の電化認可

十月 国勢調査結果七三二二人

十二月 小国の温水ため池が完成

昭和三十六年 401

一月 村章を決定

六月 台風四号による被害六千万円

十月 てん菜試作の集荷好成绩

昭和三十七年 402

四月 山形村納税組合が発足

九月 内間木洞穴の学術探検調査を実施

十月 霜畑の中筋地区に水道が引かれる

沼袋地区に電気導入

昭和三十八年 404

二月 大雪により26日ぶりで山形・小国間のバス再開

内間木洞窟保存会を結成

三月 営農改善のため、てん菜作付け拡大を図る

四月 山形村森林組合を設立

七月 山形農協でブルドーザー購入

八月 診療所が完成し、落成式挙行

九月 来内・明神に点灯

十一月 内間木地区に農村公衆電話を導入

小国小中学校が全国へき地教育研究大会の会場となる

十二月 木藤古地区に電気導入

二又地区に電気導入

昭和三十九年 406

一月 村に初めて除雪車が配置される

二月 豪雪視察のため千田知事が来村

四月 村の新年度予算が一億円突破

六月 山形村観光協会を設立

五地区に農村公衆電話を架設

七月 繫小学校校舎新築落成

八月 平庭高原で全日本学生キャンプを開催

九月 第一回肉牛肥育共励会を繫中学校にて開催

肥育牛を大阪へ出荷

東北電力山形出張所を設置

十月 てん菜振興協議会を設立

目次

十一月 東京都で同郷会を結成
十二月 赤城・沢繋・高成地区に点灯
昭和四十年

410

十一月 学校統合問題審議会を設置
本村初の村営住宅
四十二年 関小国農協を解散し、山形農協に一本化
上外川放牧地を山形村関係者に譲渡
国策のビート(てん菜)栽培中止
全村電化

昭和四十三年

419

一月 国民健康保険七割給付実施
三月 久慈高校山形分校霜畑分室を閉鎖
七月 衛生班連合会を結成
九月 川井地区簡易水道事業に予算計上
本村初めての鉄筋コンクリートの校舎落成
十一月 関・岩泉間のスーパール林道に着工
十二月 来内小学校校舎落成
四十年 大谷内等五地区に点灯
昭和四十一年

412

五月 かわい児童館開所
肉用牛繁殖センターが落成
七月 山形村交通指導員を設置
県北高校定時制教育振興大会を山形小学校で開催
十一月 陸中山形郵便局落成
川井丹内神社に建立された英霊顕彰碑の除幕式
村に雪上車配置
松生利直教育長退任

昭和四十四年

420

一月 林道松坂線が完工
三月 関地区で集団赤痢発生
四月 久慈高校山形分校昼間定時制普通科が発足
山形村林業振興株式会社が発足
平庭などに電気導入
六月 順天堂大学無料検診の日程
八月 移動県民室に六百名参加
昭和四十二年

414

三月 久慈高校定時制(山形)に夜間課程開設
四月 山形村趣味の会、十部門で結成
五月 山形村の山林火災二千ヘクタール、二十二世帯焼失
林野庁によるヘリでの空中消火
八月 学校給食センターが完成し完全給食となる
九月 スーパー林道が全線開通
十月 小国で季節託児所を開設
村制八十周年記念行事
患者輸送車購入
四十四年

十月 台風二十二号の被害五千万円
村民の休日として「村民の日」を設定
小国地区の集団赤痢患者十四人
全校にパンと牛乳給食を実施
五月 山形村助産所を開所
三月 山形村における農作業の基準賃金決定
九月 全校にパンと牛乳給食を実施

昭和四十五年

4 2 3

四月 新生山形中学校誕生

久慈・沼宮内道が国道二八一号線に昇格

五月 霜畑児童館が開館

七月 小国自然愛護少年団誕生

八月 過疎地域市町村に指定

十月 国勢調査人口五五〇八人

本村を通過する国体炬火リレーに中学生が参加

山村開発センター起工式

商工会を設立

昭和四十六年

4 2 6

四月 山形中学校と日野沢中学校が実質統合

村の予算四億七千万円

九月 歯科診療所で診療開始

十月 総合センター（山村開発センター及び役場庁舎）が完成

十一月 荷軽部小学校が全日本健康優良特選校

十二月 NHKテレビ放送中継所建設

昭和四十七年

4 2 7

一月 乳児死亡率ゼロを達成

四月 山形分校独立校舎に移転

八月 総合センターに図書館を開館

九月 NHKテレビ放送受信

十月 学校統合審議委員会の答申

十一月 屋外電話を設置

十二月 小国児童館が開館

四十七年 荷軽部小中学校に「学研賞」及び教育功労賞

昭和四十八年

4 2 9

三月 地域集団電話開設、普及率八〇%

四月 久慈高校山形分校が全日制課程を設置

消防署山形分遣所が開所

戸呂町小学校へき地集会所が完成

六月 平庭観光開発株式会社が誕生

八月 山形小学校校舎・屋体が完成

昭和四十九年

4 3 1

四月 山形分校定時制が全日制分校となる

五月 天皇・皇后陛下のお手植え介添えに小国中学校の新井谷さんが選ばれる

十一月 レストハウス「源氏荘」落成

十二月 種牡牛集中管理施設及び家畜市場完成

僻地保健福祉会館が荷軽部に完成

昭和五十年

4 3 2

八月 村に初めて「まつり」が誕生

十月 国勢調査人口五〇七〇人

十一月 「山形村昔話」集を発刊

昭和五十一年

4 3 2

三月 久慈高校山形分校全日制第一回卒業式

四月 農業改良普及所山形出張所を設置

六月 小国地区に簡易水道を整備

八月 日野沢小学校が「へき地教育賞」を受賞

九月 長雨冷害対策本部を設置

十一月 久慈高校山形分校新築校舎完成を祝う

五十一年 換金作目として葉タバコ・落花生栽培を導入する

昭和五十二年

434

二月 工場誘致第一号の「丸福衣料」が操業開始

三月 消防団に竿頭綬

荷軽部小学校へき地集會室完成

第一号村文化財指定

四月 戸呂町へき地保健福祉館開所

九月 川井地区簡易水道拡張工事完成

白笹地鶏を村の文化財に指定

十月 常磐会が農業賞を受賞

ダイヤル式電話に切り替え

十一月 広域家畜市場が完成

十二月 村民憲章及び村の花鳥木を決定

昭和五十三年

437

二月 商工会館落成

農協合併採決満場一致で可決

三月 常磐会が農林大臣賞を受賞

林産加工センターで部分操業開始

五月 短角牛の春市場を開設

地籍調査を開始

六月 ダイヤル式電話の開通祝賀會

七月 商工会婦人部を設立

十月 久慈高校山形分校創立三十周年記念祝賀會

十一月 救急車配備

十二月 慧日山千手寺改築

昭和五十四年

440

二月 村消防団が日章旗を受賞

十一月 アメリカ人による初めての英語の授業

昭和五十五年

441

二月 婦人消防協力隊が表彰旗受賞

十月 国勢調査人口四六七〇人

短角牛せりで最高値百七十万千円

十二月 平庭高原スキー場がオープン

五十五年 大冷害の被害が八億八千万円

牛乳の生産調整

昭和五十六年

443

二月 栃元さんに岩手農業賞、類瀬さんにLAP賞

織茂医師に医療功労賞

三月 九年ぶりに乳児死亡ゼロ達成

四月 歯科診療所を開設

五月 霜畑地区簡易水道が完成

十月 全村の電話が自動切り替え

十二月 荷軽部地区集落センターが完成

昭和五十七年

445

二月 第一回スキー大会を開催

七月 婦人消防協力隊が消防庁長官表彰を受賞

八月 冷害対策としてパイプハウス導入を推進

九月 集中豪雨・台風被害が一億二千六百万円

十二月 林道コンクールで農林水産大臣賞

五十七年 短角牛の通年出荷が始まる

昭和五十八年

446

四月 五校が統合した山形中学校が開校

小笠原寛氏が村長に当選

九月 大規模林道村内区間に着工
十二月 五十七年度決算二十三億七千四百三十八円

昭和五十九年

448

三月 川井く伊保内間のバス運行休止決定
五月 肉用牛基幹牧場を開設

七月 日野沢地区に少年防火クラブ・幼年防火クラブを結成

八月 B & G 海洋センターが完成

大地の会と短角牛生産者の交流会

十月 荷軽部肉用牛生産組合が営農部門優秀賞を受賞

昭和六十年

450

二月 オガクズ生産を開始

三月 荷軽部小学校校舎改築完成

村消防団が表彰旗を受賞

七月 健康増進センターが完成

八月 肉用牛経営コンクールで農林水産大臣賞を受賞

十月 国勢調査人口四二六六人

石渡さんに岩手農業賞

荷軽部部落会に内閣総理大臣賞

牛せりの最高額百三十六万円

小国中学校が全国小さな親切運動本部表彰

昭和六十一年

455

六月 国保診療所が新築移転

七月 第一回村民体育大会

九月 三地区に公民館・集会所が完成

十月 県北横断道が開通

十月 関郵便局が新築移転

十一月 大規模林道、日野沢出ル町間が開通

十二月 アカバネ病発生

平庭に大駐車場等スキー場関連事業が完成

日野沢小学校が改築完成

昭和六十二年

457

三月 オリソピックメダリスト猪谷千春氏が来場

国保歯科診療所を閉所

野菜集荷場に野菜保冷庫が完成

六月 林道繋一号線舗装完成

平庭峠に駐車場・トイレを整備

十月 村道荷軽部線が全面舗装

ホウレンソウ生産額一億円を突破

十二月 平庭山荘オープン

昭和六十三年

460

四月 移動入浴車の派遣サービス開始

山形中学校グラウンドにナイター施設完備

七月 リフレッシュふるさと推進モデル事業完成

十一月 村道外川井線の全面改良舗装完成

十二月 戸呂町小学校新校舎完成

平成元年

461

三月 平庭スキー場花火大会

九月 旧石器時代の国内最大級石刃を発掘

早坂平遺跡の学術調査

十月 国道二八一号線バイパス起工式

本村に岩手農業賞特別農業功労賞

十月	村政施行百周年		
十二月	村で初の製炭技師(チャコールマイスター)誕生		
平成二年		4	65
一月	乳児死亡率ゼロ九年連続達成		
三月	老人福祉センターが完成		
	小国中学校が統合閉校		
十二月	集中豪雨による被害三億円余		
平成三年		4	66
二月	デイサービスセンターの利用開始		
	小国小学校木造新校舎が完成		
平成四年		4	67
二月	県内初の全戸個別受信機を設置		
四月	「白樺の郷」整備事業が完成		
十一月	県道戸田荷軽部線改良開通		
	過疎活性化連盟会長賞を受賞		
十二月	珍獣「ガタゴン」の足跡を発見		
四年	「まめぶ」が国土庁長官賞を受賞		
平成五年		4	70
五月	「善行賞」で全国表彰		
九月	大規模林道細谷地〜日野沢区間Ⅱ開通		
十一月	戦後最悪の大冷害		
五年	村初の村民栄誉賞		
	女性初の「岩手農業賞」		
	岡堀部落会が活力あるむらづくりで優秀賞		
	バッテリー村がI W A T Eふるさとづくり大賞を受賞		
平成六年		4	72
一月	ホウレンソウ販売が二億円突破		
	「総合農舎山形村」を設立		
八月	第一回ガタゴン祭り開催		
	ふるさと物産センター営業開始		
十月	国勢調査人口三七〇一人		
	村食生活改善協議会に厚生大臣賞		
十一月	農協ハウス部会が全国表彰		
十二月	国道二八一号線川井バイパス開通		
六年	ゲートボールで世界制覇の南野さんに村民栄誉賞		
平成七年		4	75
五月	谷地仁君、初土俵で全勝優勝		
平成八年		4	75
八月	若者たちによるフェスティバル開催		
	堀切サワさん、村内初の百歳		
平成九年		4	76
一月	黒炭切炭が最優秀賞に輝く		
四月	「炭々館」オープン		
五月	「アクティブ山形」新工場で操業開始		
七月	山形森林組合が広域合併		
十二月	屋内ゲートボール場完成		
平成十年		4	78
四月	平庭高原ビール誕生		
七月	山村文化交流センター(おらほーる)オープン		
八月	集中豪雨の被害は六億九千八百万円		

平成十一年 ————— 480

二月 ホウレンソウ販売額三億円を達成

三月 いわてくじ農協誕生

四月 清水恭一氏が村長に当選

十月 活力ある村づくりで霜畑が受賞

十一月 豪雨の被害五十五億円

十二月 作文コンクールで農林水産大臣賞

平成十二年 ————— 483

二月 大寒波による被害五億七千万円

四月 十両優勝の栃乃花関に村民栄誉賞

六月 栃乃花関が新入幕で敢闘・技能二賞

七月 台風第三号による大打撃

十月 国勢調査人口三三八二人

平成十三年 ————— 485

三月 新村管住宅が完成

才無左優太君に「はばたき賞」

五月 ドーム型の繫小学校新校舎完成

六月 三十六ホールのパークゴルフ場完成

九月 繫小学校に山村留学生

十一月 九戸家畜市場を閉鎖

十二月 新しいわて農業・農村創造運動推進協議会会長表彰

平成十四年 ————— 486

五月 内間木洞の総延長は国内第三位

オール電化の学校給食センターが完成

十一月 旧石器時代の国内最大級の石斧を発見

平成十五年 ————— 487

三月 観測史上最大規模の大雪

六月 平庭高原木道（フォレストボード）の打ち付けを開始

九月 長年のカジカ研究に全国表彰

十月 短角牛肥育部会が農林水産業賞を受賞

林業部門で中村さん夫妻が受賞

十年ぶりの大冷害

十二月 アメニティコンクールで最優秀賞

平成十六年 ————— 490

一月 久慈市・山形村任意合併協議会を設立

三月 岩脇ヨシエさんに日本農業賞

五月 平庭高原にコテージ「白樺村」がオープン

内間木洞にビクターセンター完成

六月 野田村の任意協議会参加を受諾

平庭高原で全国闘牛大会を開催

十一月 山形村・野田村合併協議会から野田村が離脱

久慈市・山形村合併協議会を設置

村のスポーツに文部科学大臣賞

日野沢小学校、表彰ラッシュ

平成十七年 ————— 493

一月 合併協議終了

霜畑小学校に環境美化教育優良表彰

二月 合併協定書に調印

市村合併を議会で可決

県に合併申請書を提出

三月 戸呂町地区簡易水道が完成

目次

四月 へろまち産直館がオープン

五月 体験型学習旅行受け入れ第一号として、九十人來村

七月 山形村・久慈市の廃置分合についての決定書

新「久慈市」誕生を県議会で決定

市村の廃置分合についての告示

十月 国勢調査人口三一一三二人

山形村スポレクフェスタに一一四六人参加

十一月 日野沢小学校に内閣府善行青少年表彰

十二月 長坂さん夫妻に「意欲ある担い手賞」

平成十八年 498

二月 四百人が出席して山形村閉村式

合併後の総合支所体制

三月 山形村閉村式が行われ、閉村記念碑を除幕する

あながき 502

関係者一覧 504

協力者一覧 505

収集資・史料及び引用資・史料一覧 506